

# 性教育認定講師制度

## (1) 目的

日本思春期学会員が、学校現場と連携した性教育の実践が円滑に進むという目的に特化した制度です。学校現場、児童生徒のニーズに沿った性教育が展開できるような意識と知識を持つことを目指しています。

講習会では以下の視点を重視します。

- ①学校現場の状況、協働について最低限の理解に必要な内容。
- ②公衆衛生、健康教育の最新事情を理解する。
- ③生徒児童の前に立つために。
- ④外部講師を呼ぶために。

## (2) 制度の概要

### ①講習内容（基本の4コマ）

#### ①学校と連携するために

～教科書、講義のスキル、NGワード、学校保健室からの要望、等～  
これを聞けば、学校とのスムーズな連携、間違いなし。

#### ②臨床・思春期のトピックス

～梅毒、デートDV、SNS、等～  
いま、何が臨床や思春期のトピックスかがわかります。

#### ③公衆衛生・予防的視点・ライフプラン

～妊孕性・人生双六を含む～  
正解を押し付けるのではなく、先を見据えた効果的な性教育の視点を学びます。

#### ④セクシュアリティ・生と死

～性的指向・性自認・性の自己決定・人権・関連領域～  
いろんな「性」と「生」と「死」についての視点で「生きる力」を育てましょう。

## ②講習会受講と認定期間

年度 内容	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目
学校との連携	●		○	○	○		○	○	●		○
臨床・思春期のトピックス		●	○	○		○	○	○		●	○
公衆衛生・ライフプラン	●	○		○	○	○		○	●	○	
セクシュアリティ・生と死	●	○	○		○	○	○		○	●	○
認定期間	<p style="text-align: center;">←-----→</p> <p>学会開催後の申請で認定 初回受講後10年間（思春期保健相談士は10年、他は9年）</p> <p style="text-align: center;">←-----→</p> <p>資格を途切れさせないためには認定最終年までに次の4コマを受講し申請する必要がある</p>										

4分野すべてを受講後、申請により認定する。

認定期間は、認定を申請する4分野の、最初の講習会受講年から10年間。

（例：平成28年取得者：平成28年11月1日～平成38年10月31日）

## ③受講資格

日本思春期学会会員（学会開催期間内に加入手続きを済ませれば可）

当年度学術集会参加者（参加費納入済みの者）

## ④受講料

一コマ1,000円（資料代を含む）

## ⑤認定申請費用

認定申請に際して、6,000円の申請料を徴収。

## ⑥思春期保健相談士免除措置

思春期保健相談士は幅広く思春期に関する学習をしているため、本人の初回認定時のみ「臨床・最新のトピックス」の受講を免除できる。

## ⑦性教育認定講師の要件を満たした会員の認定申請方法

申請受付期間は9月末日。申請料の振り込みが確認できた申請者には、11月末までに随時認定書を送付。

## ⑧認定期間の継続

認定期間の連続性を確保するためには、認定期間内に次の10年の認定資格を取得していること。

## ⑨認定者のメリット

## 1. HPでの紹介

認定者はHPで紹介し、ニーズ調査等を機会に全国の学校への広報を実施。

## 2. 認定期間内の継続的支援

ML等を活用した、継続的な情報提供、ネットワークづくり、交流の場づくり。

## ⑩認定の停止

## 1. 認定期間の超過

## 2. 学会員資格の喪失（学会費滞納を含む）

### (3) 制度の実績と予定

#### ①平成 28 年度講習会受講者数

第 35 回学術集会（東京浅草）

開催日	内容	総計
平成 28 年 8 月 27 日（土）	学校と連携するために	174
平成 28 年 8 月 28 日（日）	セクシュアリティ・生と死	176
平成 28 年 8 月 28 日（日）	公衆衛生・予防的視点・ライフプラン	162

#### ②第 1 回性教育認定講師認定実績

平成 28 年 11 月 1 日～平成 38 年 10 月 31 日	内思春期保健相談士
30 名	30 名

#### ③平成 29 年度講習会実施予定

平成 29 年度：第 36 回学術集会（宮崎）（予定）

開催日	時間	内容	会場
平成 29 年 8 月 26 日（土）	16:00～17:00	公衆衛生・予防的視点・ライフプラン	第 2 会場 （天葉）
平成 29 年 8 月 27 日（日）	7:50～ 8:50	臨床・思春期のトピックス	
平成 29 年 8 月 27 日（日）	13:10～14:10	セクシュアリティ・生と死	

（文責：性教育委員会 委員長 岩室紳也）